

事務事業評価調書

事務事業名	被服貸与事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	事務服の貸与廃止											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	吹田市職員被服貸与規程													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	業務上、作業服(事務服を除く)を必要とする職員・再任用職員												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	作業服を貸与し、安全に業務への従事ができるようにするとともに、市民等に不快感を与えないようにする。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	被服の着用は業務効率の向上と安全衛生につながる。													
(7)	事業概要	作業服については、貸与対象者に貸与希望調査を実施し、必要な分のみ購入し貸与する。貸与期間は、男女、夏冬とも2年に1着。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大事業	06	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,064	2,234	3,381	2,270	3,375							
		人件費	職員数	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15						
			総額(B)	千円	1,253	1,206	1,226	1,186	1,208						
		総事業費(A+B)		3,317	3,440	4,607	3,456	4,583							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		3,317	3,440	4,607	3,456	4,583							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			3,317	3,440	4,607	3,456	4,583								
財源計(C+D)		3,317	3,440	4,607	3,456	4,583									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	2年に1回、作業服の貸与希望意向を調査し、必要な数量の作業服を貸与する。			目標	作業服を必要とする職員にのみ貸与する。	
	②	成果内容	作業服を貸与し、安全に業務への従事ができるようにするとともに、市民等に不快感を与えない。			達成状況	作業服が必要な職員に対し貸与している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		作業服の貸与は安全衛生面において有効であるため、今後も貸与を継続する必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	被服貸与事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00043				

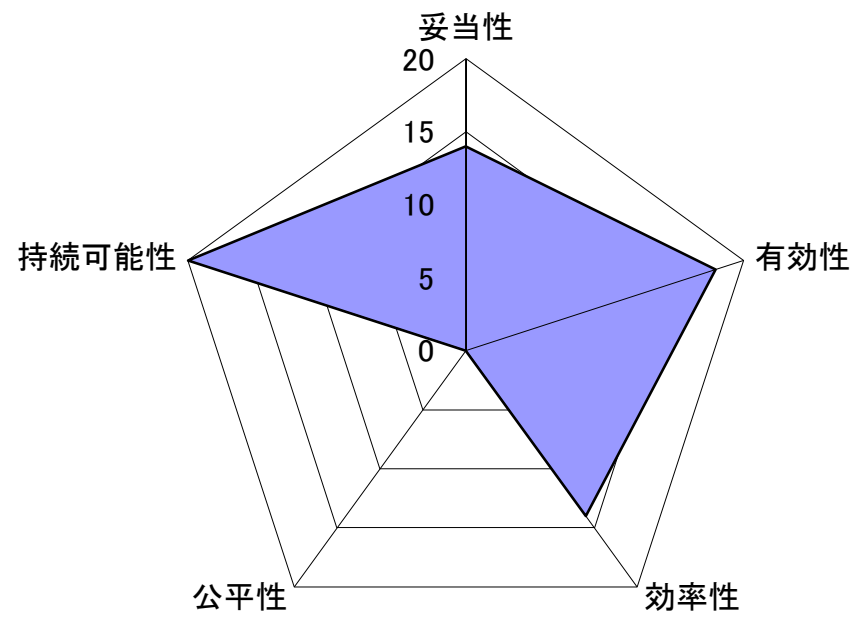
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00043
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事務服の貸与については意義が薄れてきたため、平成25年度から貸与を停止している。 作業服の貸与は安全衛生面において有効であり、今後も貸与を継続していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	非常勤職員等の公務災害事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	補償内容の変更											
(2) 直近の改正	平成18年度													
(3) 根拠法令等	地方公務員災害補償法、議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		非常勤職員等のうち、労働者災害補償保険法の対象外となる職員を条例等で補完している。											
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	議会の議員・非常勤職員・臨時雇用員											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	非常勤職員等の公務中又は通勤途上の災害について、職員同様の補償を行う。(労災補償分を除く。)												
(7) 事業概要	地方公務員災害補償法により、労働者災害補償保険法の適用を受けない議会の議員を含む非常勤の職員に公務中又は通勤途上における災害に対する補償を行うため、公務等によるものかを判断する公務災害補償等認定委員会を設置するとともに、公務災害等と認定されたときは療養や休業等に対する補償を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大事業	06	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		626	1,213	626	1,255	626							
	人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40						
		総額(B)	千円	3,341	3,216	3,268	3,160	3,221						
	総事業費(A+B)		3,967	4,429	3,894	4,415	3,847							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		3,967	4,429	3,894	4,415	3,847						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源			3,967	4,429	3,894	4,415	3,847							
財源計(C+D)		3,967	4,429	3,894	4,415	3,847								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合	①	活動内容	非常勤職員等の公務中又は通勤途上の災害に対して、療養及び休業の補償を行う。			目標	公務災害の発生に応じて療養費等の補償を行う。
	②	成果内容	非常勤職員等が安心して働くことができ、業務上での効率化につながる。			達成状況	必要な補償を行った。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		非常勤職員等が安心して業務に従事できるよう、事業主として責任を持ち補償する必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	非常勤職員等の公務災害事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00044				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00044
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays scores for five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	平成27年度と比較すると、公務災害発生件数は同等程度の件数であり、執行額も継続的に発生している。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	人事システム運用事業				
担当部署	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田 一雄

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正内容	大型汎用機撤退及び旧人事システムの保守サポート期限切れに伴い、平成28年度に新人事給与システムを構築・運用開始したもの																	
(2) 直近の改正	平成28年度																			
(3) 根拠法令等	地方公務員法、吹田市職員服務規程等																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)															
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00													
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他															
	範囲等	職員、再任用職員、非常勤職員、臨時雇用員																		
	目標(どういう状態にしたいのか)	出退勤及び時間外勤務の状況を所属長が随時把握できるようにし、職員の健康保持等の観点から労働時間を適切に管理すること及び人事発令、給与発令、職員台帳管理等を適切かつ効率的に行うこと。																		
	結果(どのような効果が得られるのか)	職員の健康管理の適正な把握ができることで職員の長時間労働の防止ができ、また適正かつ効率的に人事管理ができる。																		
(7) 事業概要	出退勤管理を職員証を兼ねたIDカードで記録し電算化することで、出退勤及び時間外勤務の状況を所属長が随時把握できるようにする。また、人事発令、給与発令、職員台帳管理、給与支給事務等を適切かつ効率的に行う。																			
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大	事	業	15	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		5,676	6,311	5,075	5,074	9,464													
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.40	0.40	1.40												
		総額(B)	千円	1,671	1,608	3,268	3,160	11,273												
	総事業費(A+B)		7,347	7,919	8,343	8,234	20,737													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0												
		国		0	0	0	0	0												
		府		0	0	0	0	0												
	その他		0	0	0	0	0													
	(内訳)	市負担(D)		7,347	7,919	8,343	8,234	20,737												
		地方債		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
一般財源		7,347	7,919	8,343	8,234	20,737														
財源計(C+D)		7,347	7,919	8,343	8,234	20,737														
(10) 実施方法(該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 富士通株式会社関西支社																	
			② リコーリース株式会社																	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③ NTTファイナンス株式会社																	
			①																	
<input type="checkbox"/> その他		主な委託内容 システム改修・保守																		
		②																		
		③																		
		内容																		

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00					
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00					
(3) が困難な場合	① 活動内容	出退勤管理を職員証を兼ねたIDカードで記録し電算化するとともに、人事発令、給与発令、職員台帳等を人事システム上で管理する。			目標	職員の健康保持等の観点から労働時間を適切に管理するとともに、人事発令、給与発令、職員台帳管理等を適切かつ効率的に行う。		
	② 成果内容	長時間労働の防止、職員の健康管理を適正に把握ができるとともに、適切かつ効率的に人事管理や給与支給事務を行うことができる。			達成状況	長時間労働防止に向けた対策や、長時間勤務をしている職員への健康確保の対策等を適切かつ効率的に行うことができている。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	<p>平成28年9月から新人事給与システムの導入を行いました。従前のシステムは、出勤簿、休暇、時間外勤務の管理を紙媒体で行っていましたが、新たなシステムで電子化を行ったことにより、紙代やトナー代の経費節減を図ることができました。また、初任給の格付けや退職手当の計算において事務の効率化を図ることができました。さらに、休暇の残日数管理や時間外勤務の計算を自動化することにより、管理者及び庶務担当者の負担を軽減することができました。本システムは、必要最小限の経費で安全かつ効率的に運用が図られていると考えています。</p>						

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	人事システム運用事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00045				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00045
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>人事給与システムの運用により、所属長が出退勤及び時間外勤務の状況を随時把握し、労働時間の適切な管理が可能となりました。また、休暇の残日数管理、出勤の管理及び時間外勤務の計算がシステムで行えるようになったため、管理者側及び庶務担当者の業務負担軽減につながりました。職員の健康保持等の観点からもシステムは必要不可欠と考えています。</p> <p>また、各職員の情報管理が可能となるため、人事発令や給与発令、給与支給事務等が適切かつ効率的に行うことができています。</p> <p>なお、平成28年度については、新人事給与システムの開発を終え、年度途中から運用を開始しています。本事業における決算見込み額におけるシステム保守経費については旧システム運用に係る6月分のみとなっており、新システムの保守経費については別事業(人事・給与システム開発事業)において執行しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	退職料及び遺族扶助料事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田 一雄

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和23年度	改正内容	退職料又は遺族扶助料の年額が230万円を超えると、当該年額に0.9を乗じて得た額又は230万円のいずれか高い額とする改正											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	吹田市吏員恩給条例・退職料及び遺族扶助料の年額の改定に関する条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	退職料及び遺族扶助料受給対象者(昭和30年1月1日以前に吏員であり、昭和37年11月30日までに勤続12年以上で退職した者及びその遺族)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	退職した職員又はその遺族の生活のため、安定した収入を確保すること。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	退職した職員又はその遺族の安定した生活を支えることができる。												
(7)	事業概要	退職料及び遺族扶助料の支給事務													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	08	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		4,665	2,364	2,365	2,364	2,365							
		人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	418	402	409	396	403						
		総事業費(A+B)		5,083	2,766	2,774	2,760	2,768							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		5,083	2,766	2,774	2,760	2,768							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			5,083	2,766	2,774	2,760	2,768								
財源計(C+D)		5,083	2,766	2,774	2,760	2,768									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) の3が困難な場合を示す		①	活動内容	吹田市吏員恩給条例に基づき、退職料及び遺族扶助手料受給対象者に対して、年4回恩給を支給すること。			目標
	②	成果内容	吹田市吏員恩給条例に基づく退職料及び遺族扶助手料受給対象者の安定した生活を支える。			達成状況	吹田市吏員恩給条例に基づき、退職料及び遺族扶助手料受給対象者に対して、年4回恩給を支給し、対象者の安定した生活を確保。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		吹田市吏員恩給条例に基づき、退職料及び遺族扶助手料受給対象者(昭和30年1月1日以前に吏員であり、昭和37年11月30日までに勤続12年以上で退職した者及びその遺族)の生計維持のために支給するものであるため、必要不可欠な事業であると考えています。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	退職料及び遺族扶助料事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00047				

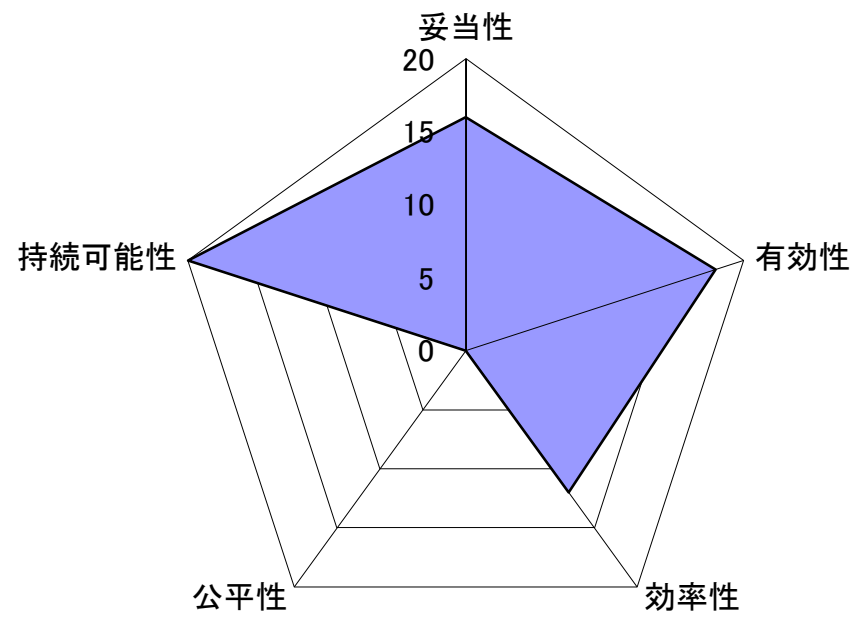
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00047
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国家公務員については恩給法、地方公務員は恩給条例に基づき、退職した職員又はその遺族の安定した生活を支えるため、退隠料及び遺族扶助料を支給する事務で、現在吹田市では、吏員恩給条例に基づき、退隠料を1名、遺族扶助料を1名に支給しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	職場内研修事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	平田美恵子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	研修の名称等の変更に伴う規定の整備。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	吹田市職員研修規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	03	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市職員												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	時代の変化に的確に対応し、市民の身近なところで議論を行い、その経過についてきちんと説明責任を果たし、市民の信頼を得ながら、市民満足度の高い市政を実現できる職員を育成する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	将来に亘って持続的に市民満足度の高い市民サービスを提供する。												
(7) 事業概要	職場内集合研修(講演会・復命研修会)やOJT(日々の仕事を通じて、その仕事に必要なノウハウやスキルを習得させる。)の実施。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	10	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		470	329	470	268	470							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10							
		総額(B)	千円	836	804	817	790							
	総事業費(A+B)		1,306	1,133	1,287	1,058	1,276							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		1,306	1,133	1,287	1,058	1,276						
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		1,306	1,133	1,287	1,058	1,276								
財源計(C+D)		1,306	1,133	1,287	1,058	1,276								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	各職場で実施している職場内研修受講者数 指標内容	目標値	(単位:人)	9,500.00	9,500.00	9,500.00
			実績値	(単位:人)	9,213.00	11,280.00	
			達成度(%)		97.0	118.7	
	目標値の積算方法	各職場で実施している職場内研修受講者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.12	0.09	
				一般財源(単位:千円)	0.12	0.09	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
の3が困難な場合を示す	①	活動内容		目標			
	②	成果内容	時代の変化に対応しながら、吹田市を将来にわたって持続的に発展させることができるよう、職員を育成する。	達成状況	職員のスキルアップにつながる研修が実施できている。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		職員の能力開発は、仕事を通じて図られる側面が大きく、また、各職場で必要となる知識・技術等は異なるため、職場に応じた内容の職場内研修に取り組むことが重要であり、今後も事業を継続していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	職場内研修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	000048				

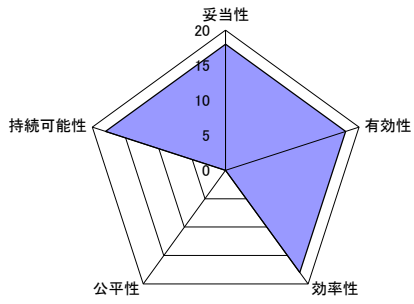
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	000048
-----	-----	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>職員の能力開発は、仕事を通じて図られる側面が大きいため、職場を教育・訓練の場ととらえ、職場内研修に取り組んでいる。職場内研修については、職員及び職場全体の仕事に必要な知識・技術等のレベルアップを図るため、各職場に「職員研修推進リーダー」を設置し、組織的、意識的、計画的に実施している。更に効果的な事業となるよう、引き続き手法等を検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	主催研修事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	平田美恵子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	研修の名称等の変更に伴う規定の整備。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	吹田市職員研修規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	03	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市職員											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	時代の変化に的確に対応し、市民の身近なところで議論を行い、その過程についてきちんと説明責任を果たし、市民の信頼を得ながら、市民満足度の高い市政を実現できる職員を育成する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	将来に亘って持続的に市民満足度の高い市民サービスを提供する。												
(7) 事業概要	能力向上研修(階層別研修、専門研修)や意識改革研修の実施。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	10	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,752	2,954	5,286	4,525	5,135							
	人件費	職員数	人	0.90	1.40	0.90	1.40	1.40						
		総額(B)	千円	7,517	11,255	7,353	11,060	11,273						
	総事業費(A+B)		12,269	14,209	12,639	15,585	16,408							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		12,269	14,209	12,639	15,585	16,408						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		12,269	14,209	12,639	15,585	16,408								
財源計(C+D)		12,269	14,209	12,639	15,585	16,408								
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施											
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
主な委託内容														
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 主催研修受講者数	目標値	(単位:人)	4,200.00	4,200.00	4,200.00
			実績値	(単位:人)	4,506.00	5,505.00	
			達成度(%)		107.3	131.1	
	②	目標値の積算方法 主催研修受講者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.15	2.83	/
				一般財源(単位:千円)	3.15	2.83	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	②	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	/
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容	時代の変化に対応しながら、吹田市を将来にわたって持続的に発展させることができるよう、職員を育成する。		達成状況	今後も職員のスキルアップにつながる研修を充実させていく必要がある。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		階層別に必要とされる基本的な能力、知識等の向上や実務的な能力開発、職員の意識改革を図るため必要な事業である。職員の自主的・意欲的な参加を促進し、より効果的な研修となるよう継続的に研修内容を検討していく必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	主催研修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	000049				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	000049
-----	-----	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays scores for five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 10, 持続可能性: 15.</p>		
(3)現状分析	<p>能力向上研修は、階層別研修として新任役付職員や管理監督者等を対象に実施し、それぞれの階層に必要とされる基本的な能力、知識等の習得につながり、専門研修は、全職員を対象に職員の職務遂行能力の向上を図り、実務的な能力開発につながっている。また、意識改革研修では、コンプライアンス意識の徹底を図るなど職員の意識改革を進めている。</p> <p>職員の受講意欲と自発性を促し、より効果的な研修となるよう、法律や制度改正など社会環境の変化等に対応しながら研修内容を検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	外部派遣研修事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	平田美恵子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	研修の名称等の変更に伴う規定の整備。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	吹田市職員研修規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	03	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市職員											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	将来に亘って持続的に市民満足度の高い市民サービスを提供する。												
(7) 事業概要	人事室派遣研修(市町村職員中央研修所、全国市町村国際文化研修所、国土交通大学校、全国建設研修センター、おおさか市町村職員研修研究センター、北摂都市研修協議会等の外部機関が行う研修への派遣、国行政機関派遣研修など)や職場派遣研修(専門研修機関が行う研修への派遣、先進都市派遣など)の実施。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	10	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		19,142	16,262	19,479	14,937	19,120							
	人件費	職員数	0.60	1.10	0.60	1.10	1.10							
		総額(B)	5,012	8,843	4,902	8,690	8,858							
	総事業費(A+B)		24,154	25,105	24,381	23,627	27,978							
	(内訳)	特定財源(C)		0	710	454	426	454						
		国		0	171	0	0	0						
		府		0	27	0	0	0						
		その他		0	512	454	426	454						
	(内訳)	市負担(D)		24,154	24,395	23,927	23,201	27,524						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		24,154	24,395	23,927	23,201	27,524								
財源計(C+D)		24,154	25,105	24,381	23,627	27,978								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	外部派遣研修受講者数	指標内容	目標値	(単位:人)	600.00	600.00	600.00
			実績値	(単位:人)	570.00	585.00		
			達成度(%)		95.0	97.5		
	目標値の積算方法	外部派遣研修受講者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	44.04	40.39		
				一般財源(単位:千円)	42.80	39.66		
				達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
			達成度(%)		0.0	0.0		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	目標					
			達成状況	職員のスキルアップもつながる研修が実施できている。				
			成果内容	時代の変化に対応しながら、吹田市を将来にわたって持続的に発展させることができるよう、職員を育成する。				
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
		達成度(%)		0.0	0.0			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	外部機関が実施する研修に職員を派遣し、幅広い視野、高度専門的な知識、技能等の集中的な習得を図っている。職員が研修で得た新しい考え方や専門的知識等は職務の実践に活かすことにつながるため、研修への参加を積極的に支援していく必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	外部派遣研修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00050				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00050
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays scores for five categories: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>外部機関が実施する研修に職員を派遣することで、職員は幅広い視野、高度専門的な知識、技能等を集中的に習得し、研修で得た専門的知識等を職務の実践に活かすことにつながっている。また、社会環境や市民ニーズの変化に対応できるようになることも期待できるため、研修への参加を積極的に支援していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	職員自主研修事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	平田美恵子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	研修の名称等の変更に伴う規定の整備。																	
(2) 直近の改正	平成26年度																			
(3) 根拠法令等	吹田市職員研修規則																			
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	03	細節	00													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他															
		範囲等	吹田市職員																	
	目標 (どういう状態にしたいのか)	時代の変化に的確に対応し、市民の身近なところで議論を行い、その経過についてきちんと説明責任を果たし、市民の信頼を得ながら、市民満足度の高い市政を実現できる職員を育成する。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	将来に亘って持続的に市民満足度の高い市民サービスを提供する。																		
(7) 事業概要	通信教育、資格取得、大学院修学及び自主研究グループへの支援の実施。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	10	大	事	業	05	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		500	8	500	27	310													
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10													
		総額(B)	千円	836	804	817	790													
	総事業費(A+B)		1,336	812	1,317	817	1,116													
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0													
		国		0	0	0	0													
		府		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
	(内訳)	市負担(D)		1,336	812	1,317	817	1,116												
		地方債		0	0	0	0													
		その他		0	0	0	0													
一般財源		1,336	812	1,317	817	1,116														
財源計(C+D)		1,336	812	1,317	817	1,116														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																		
		②																		
		③																		
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 自主研修受講者数	目標値	(単位:人)	350.00	200.00	/
			実績値	(単位:人)	33.00	112.00	
		達成度(%)		9.4	56.0		
	目標値の積算方法 自主研修受講者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	24.61	7.29		
			一般財源(単位:千円)	24.61	7.29		
	(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
②	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	時代の変化に対応しながら、吹田市を将来にわたって持続的に発展させることができるよう、職員を育成する。			達成状況	職員が自らスキルアップにつながる研修に積極的に参加できる策を講じていく必要がある。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		職員の自主的な学習意欲を助長し、資質の向上を促すとともに、多彩な能力開発のため、自ら学び、キャリアアップを目指そうとする職員に対して、積極的に支援を行う必要がある。また、より多くの職員が自主的に能力開発を行うことができるよう、制度の周知や改善に継続的に取り組む必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	職員自主研修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00051				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00051
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>自己啓発意欲を促進・支援し、職員的能力開発を図ることにより、専門・実務能力、政策形成能力を備えた職員の育成につながっていると考える。 職員が、自ら気づき、学習してはじめて本人の成長(自育)があり、個々の職員がどれだけ新しい知識や考え方を学び、自らの能力を高めようとするのか、モチベーションをいかに引き出すかが重要であり、制度の周知や改善に継続的に取り組む必要がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	安全衛生事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正内容	吹田市職員安全衛生管理規則の改正。											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	労働安全衛生法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明		メンタルヘルス対策としてのこころの健康相談やカウンセリングを実施。											
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	職員・再任用職員・非常勤職員・臨時雇用員												
		目標(どういう状態にしたいのか)	職員等が安全かつ健康に働くことができるようにする。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	職員等が安全かつ健康に業務に従事することができ、業務効率の向上につながる。													
(7)	事業概要	労働安全衛生法に基づき、産業医による健康相談や、精神疾患で休職した職員の復職支援、メンタルヘルス対策としてのこころの健康相談やカウンセリングを実施。													
(8)	H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	16	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		5,956	4,532	6,452	5,321	5,784							
		人件費	職員数	人	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70						
			総額(B)	千円	5,847	5,628	5,719	5,530	5,637						
		総事業費(A+B)		11,803	10,160	12,171	10,851	11,421							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		11,803	10,160	12,171	10,851	11,421						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			11,803	10,160	12,171	10,851	11,421								
財源計(C+D)		11,803	10,160	12,171	10,851	11,421									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	日本産業カウンセラー協会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容				庁内・庁外におけるカウンセリング業務等							
①															
②															
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	産業医を非常勤職員として採用													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	労働安全衛生法に基づき、産業医による健康相談や、精神疾患で休職した職員の復職支援、メンタルヘルス対策としてのこころの健康相談やカウンセリングを実施。		目標	過重労働や精神疾患による職員の健康悪化の予防、精神疾患による休職者のスムーズな復職	
	②	成果内容	長時間勤務職員への健康配慮、職員の精神疾患罹患の予防、メンタルヘルスが必要な職員の所属長等への助言、精神疾患による休職からの復職支援等により、職員等が健康で安全に業務に従事できる。		達成状況	職員の健康悪化を抑制できるよう相談等ができており、また精神疾患での休職者と所属との連携をとり適切な復職支援ができています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		行政業務の高度化・複雑化により職員の業務による健康障害を予防すべく、産業医の出務回数の増加について検討を進める。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	安全衛生事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00052				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00052
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成24年度に策定した吹田市職員こころの健康づくり計画に基づき、職員の心身の疾病を予防するため、職員が業務に関するカウンセリングを容易に利用できるよう庁内・庁外でのカウンセリング機会を設け、また復職支援・復職後支援の充実を図るため、産業医の出務回数を増加させ、産業医と心身の疾病を抱える職員の主治医との連携を図ったり、こころの健康相談の実施回数を増加させ、増加するメンタル疾患の復職職員の復職後フォローを行っている。
また、平成26年度からは、安全衛生推進者及び衛生推進者が安全衛生活動を効果的に行うことができるよう、安全衛生推進者養成講習等の受講を充実させ、所属の安全衛生活動の推進を図っている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (20), 有効性 (15), 効率性 (10), 公平性 (5), and 持続可能性 (5). The scale ranges from 0 to 20.</p>		
(3)現状分析	<p>年々増加するメンタルヘルスに関する相談や、平成27年度に開始したストレスチェックの高ストレス者面接指導実施のため、平成28年度産業医の出務回数を増加させている。 また、安全衛生推進者の研修の充実を通じ、所属の安全衛生活動の推進を図っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	職員健康管理事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	労働安全衛生法に基づくストレスチェックの実施											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	地方公務員法第42条 労働安全衛生法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		地方公務員法第42条による福利厚生のうち、胃検診やがん検診の実施など。											
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	職員・再任用職員・非常勤職員・臨時雇用員												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	職員等が心身ともに健康に働き続けることができるように、病気の予防・早期発見と治療とを目的に各種検診等を実施する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	定期健康診断等を実施することにより、職員は健康に業務に従事することができ、業務効率の向上につながる。												
(7) 事業概要	定期健康診断やがん検診等の各種検診を実施し、職員等の健康管理を行う。また、各部局に救急箱を設置し、常備薬の入れ替えを行ったり、うがい液補充などを行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	16	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		44,535	31,859	43,610	33,900	41,996							
	人件費	職員数	人	1.64	1.64	1.64	1.64	1.64						
		総額(B)	千円	13,698	13,184	13,399	12,956	13,206						
	総事業費(A+B)		58,233	45,043	57,009	46,856	55,202							
	特定財源(C)		1,286	1,247	1,200	878	1,307							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		1,286	1,247	1,200	878	1,307						
	市負担(D)		56,947	43,796	55,809	45,978	53,895							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		56,947	43,796	55,809	45,978	53,895								
財源計(C+D)		58,233	45,043	57,009	46,856	55,202								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① (医)一翠会											
			② 一般社団法人 吹田市医師会											
			③ (株)フィスメック関西事業部											
	主な委託内容		定期健康診断業務、各種検診業務等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	活動内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
①	活動内容	定期健康診断、がん検診等を実施し、職員等の健康管理を行う			目標	疾病の予防、早期発見及び治療	
		②	成果内容	職員が健康に業務に従事することができ、業務効率の向上につながる			達成状況
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
	評価の説明		平成27年から労働安全衛生法の改正によりストレスチェックの実施が義務化されたことに伴い、ストレスチェックを実施した。その結果による組織分析についても平成28年度から実施している。職員の健康を維持し、業務効率等の向上に努めるため、定期健康診断等の法定健診や各種検診等と併せて、今後も継続が必要である。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	職員健康管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00053				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00053
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>定期健康診断の受診率は9割弱で横ばい状態であるが、さらなる受診率の向上に向けて受診を促していく必要がある。 平成27年12月から、改正安全衛生法によりストレスチェック制度の実施が義務化され、毎年ストレスチェックを実施している。今後さらに実施結果を有効に活用して、職場環境改善等によるストレス要因の軽減やメンタル不調の予防に努める。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	更衣ロッカー配布事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	厚生用品配布の廃止											
(2)	直近の改正	平成21年度													
(3)	根拠法令等	地方公務員法第42条													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	職員・再任用職員												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	職員の更衣ロッカーを整備し、職場環境を整える。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	職員が業務に集中できる環境を整備し、業務効率の維持向上につながる。													
(7)	事業概要	本庁舎においては女性職員用更衣ロッカー等を整備する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	16	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		150	600	150	307	150							
		人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
			総額(B)	千円	418	402	409	396	403						
		総事業費(A+B)		568	1,002	559	703	553							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		568	1,002	559	703	553							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	568		1,002	559	703	553									
財源計(C+D)		568	1,002	559	703	553									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	本庁内においては女性更衣ロッカーを、出先機関においては更衣ロッカーを整備し、職場環境を整える。			目標	必要とされる際に整備を行う。
	②	成果内容	職員が業務に集中できる環境を整備し、業務効率の維持向上につながる。			達成状況	必要とされる際に整備を行っている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		職員が業務に集中できる環境を維持整備し、業務効率の向上につなげる。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	更衣ロッカー配布事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00054				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点				
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点		
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点		
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点		
(4) 公平性 (20点)	0	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点		
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00054
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本庁舎女性更衣室や出先機関の更衣ロッカーの更新等を行うが、新規に職員採用する中で、女性職員の割合が増えてきており、更衣ロッカーの設置スペースが課題である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	職員厚生給付事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	福利厚生事業に対して支出する公費負担額を縮減。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	地方公務員法第42条、吹田市職員の厚生制度に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	職員・再任用職員・非常勤職員											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	福利厚生制度の運営と人間ドック受診時の助成の事務を職員厚生会に補助金を交付し実施。 福利厚生や人間ドックを受けやすくすることにより、職員の健康増進、疾病の予防や早期発見につながり、業務効率の維持向上につながる。												
(7) 事業概要	吹田市職員厚生会に補助金を交付し、職員健康管理支援事業及び福利厚生制度運営の実施。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	16	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		14,958	13,817	15,030	14,087	15,420							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
		総額(B)	千円	418	402	409	396	403						
	総事業費(A+B)		15,376	14,219	15,439	14,483	15,823							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		15,376	14,219	15,439	14,483	15,823							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		15,376	14,219	15,439	14,483	15,823								
財源計(C+D)		15,376	14,219	15,439	14,483	15,823								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市職員厚生会											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	福利厚生制度(ポイント助成や各種割引)及び職員等の人間ドック等受診時における自己負担分のうち最大5千円までを助成する健康管理支援事業の実施。		目標	福利厚生制度及び、職員等が人間ドック等を受診した際に自己負担分のうち最大5千円まで助成する健康管理支援事業を実施する。	
	②	成果内容	福利厚生制度(ポイント助成や各種割引)によるリフレッシュや人間ドック受診の容易性により、職員の健康増進、疾病の予防や早期発見につながり、業務効率の維持向上につながる。		達成状況	福利厚生制度及び、職員等が人間ドック等を受診した際に自己負担のうち最大5千円まで助成する健康管理支援事業を実施している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		福利厚生事業(ポイント助成や各種割引)の実施は職員等の心身の疲労軽減に効果があり、業務効率の維持向上を期待することができ、地方公務員法第42条に基づき事業を継続していく。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	職員厚生給付事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00055				

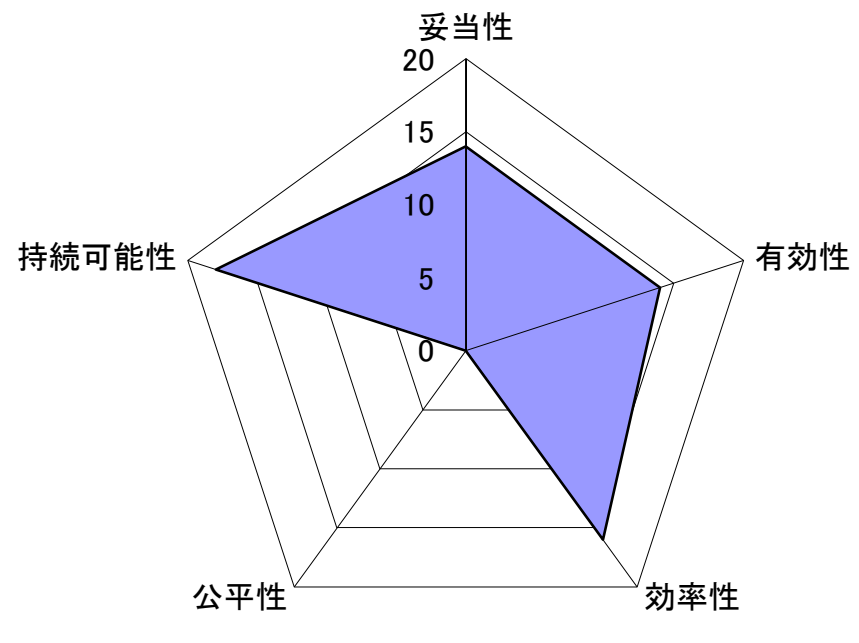
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	人事室	事務事業番号	00055
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>福利厚生事業を一部、外部委託し、ポイント助成や各種割引を実施している。また、人間ドックの受診者数は、平成28年度については約880人であり、職員の健康増進、疾病の予防や早期発見につながっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	職員会館等維持管理事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和48年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	地方公務員法第41条、第42条						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 08	基本計画推進のために	節 04	細節 00			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等 職員会館				
		目標 (どういう状態にしたいのか)	職員会館の維持管理を行い、職員が利用できるようにする。					
		結果 (どのような効果が得られるのか)	職員会館の利用は職員の福利厚生に役立ち、業務効率の向上につながる。					
(7)	事業概要	吹田市職員厚生会に補助金を交付し、職員会館の維持管理を行う。						
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 02	項 01	目 16	大事業 03	中事業 03	小事業 01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		11,162	10,491	15,296	14,624	12,416
		人件費	職員数	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
			総額(B)	418	402	409	396	403
		総事業費(A+B)		11,580	10,893	15,705	15,020	12,819
		特定財源(C)		1,569	4,461	1,964	1,861	2,078
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	1,569	4,461	1,964	1,861	2,078
		市負担(D)		10,011	6,432	13,741	13,159	10,741
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	0		0	0	0	0		
一般財源	10,011		6,432	13,741	13,159	10,741		
財源計(C+D)		11,580	10,893	15,705	15,020	12,819		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市職員厚生会					
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	職員会館の維持管理のため職員厚生会へ補助金を交付する。			目標	職員会館の利用は職員の福利厚生に役立ち、業務の向上につながる。
	②	成果内容	職員会館の維持管理を行い、職員等が利用できるようにする。			達成状況	職員会館の利用は職員の福利厚生に役立ち、業務の向上につながる。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成28年度に実施した耐震診断(2次診断)の結果を踏まえて、今後の施設の在り方を検討する。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	職員会館等維持管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00056				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	6	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 c. 市が必ずしも関与する必要がない事業である。(1点)	1	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	10	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1	点
(3) 効率性 (20点)	10	①単位当たりコストは適正ですか。 c. 単位当たりコストは高く、見直す必要がある。(1点)	1	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	8	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	1	点
評価点合計 (100点満点)	42	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00056
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>職員が福利厚生のため職員会館を利用することに一定の意義がある。しかし老朽化により今後の維持管理費は増大していくと予想される。平成28年度に実施した耐震診断(2次診断)の結果を踏まえて、今後の在り方を検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	職員の公務災害事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田一雄

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	市立吹田市民病院の独立行政法人化に伴う条文改正等											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	吹田市職員公務災害等見舞金支給規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	職員・再任用職員・議会の議員・その他非常勤職員・臨時雇用員とその家族												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	公務中や通勤途上で災害に遭い、死亡又は一定の障がいとなった場合、見舞金を支給する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	職員等が安心して業務に従事することができる。												
(7) 事業概要	職員等が公務中又は通勤途上で災害に遭い、死亡又は一定の障がいとなったとき、職員等又はその遺族に見舞金を支給する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	16	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		400	0	400	800	400							
	人件費	職員数	人	0.32	0.00	0.32	0.32	0.32						
		総額(B)	千円	2,673	0	2,615	2,528	2,577						
	総事業費(A+B)		3,073	0	3,015	3,328	2,977							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,073	0	3,015	3,328	2,977							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,073	0	3,015	3,328	2,977								
財源計(C+D)		3,073	0	3,015	3,328	2,977								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	職員等が公務中又は通勤途上で災害に遭い、死亡又は一定の障がい状況になったとき、職員等又はその遺族に見舞金を支給する。			目標	該当事案があれば見舞金を支給する。
	②	成果内容	職員等が安心して業務に従事することができる。			達成状況	該当事案があれば見舞金を支給しています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		公務災害等は発生しないことが望ましいが、万一発生した場合、職員等が安心して加療、療養に専念できるよう、また、職員等が死亡した場合には遺族が当面の生活に困窮しないよう、見舞金を支給するもので、職員が一定の心理的安心感をもって業務に従事することができる。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	職員の公務災害事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00057				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	人事室	事務事業番号	00057
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度に見舞金を支給した事例あり。これまで見舞金を支給する事例はあまり発生していないが、職員が死亡又は一定の障がい状況になったときに見舞金を支給することは意義があるとする。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	特別職報酬等審議会事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田 一雄

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和41年度	改正内容	市民病院の独立行政法人化に伴う改正											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	執行機関の附属機関に関する条例、吹田市特別職報酬等審議会規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	03	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	(1)市長、副市長、水道事業管理者、常勤の監査委員及び教育長に対する給料の額に関する事項 (2)議員及び特別職職員に対する期末手当に関する事項 ほか5項目												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	特別職の報酬等のあり方や適正な水準を答申すること。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	特別職の報酬等のあり方や適正な水準の確保。												
(7)	事業概要	学識経験者、市内の事業者及び市内の公共的団体等の代表者より委嘱された委員が、特別職の報酬等のあり方や適正な水準等に係る諮問に対して答申を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大事業	99	中事業	99	小事業	99
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		888	0	0	0	0							
		人件費	職員数	人	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00						
			総額(B)	千円	1,671	0	0	0							
		総事業費(A+B)		2,559	0	0	0								
		特定財源(C)		0	0	0	0								
		(内訳)	国		0	0	0	0							
			府		0	0	0	0							
			その他		0	0	0	0							
		市負担(D)		2,559	0	0	0								
		(内訳)	地方債		0	0	0	0							
			その他		0	0	0	0							
一般財源			2,559	0	0	0									
財源計(C+D)		2,559	0	0	0										
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) の3が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
①	活動内容	学識経験者、市内の事業者及び市内の公共的団体等の代表者より委嘱された委員が、特別職の報酬等のあり方や適正な水準等に係る諮問に対して審議し、答申を行うこと。			目標	諮問に対して審議し答申を行うことにより、特別職の報酬等のあり方や適正な水準等を確保すること。	
	②	成果内容	特別職の報酬等のあり方や適正な水準等に係る諮問に対する答申を行うこと。			達成状況	平成23年12月から平成25年4月に掛けて特別職の報酬等のあり方や適正な水準等について審議を行い、答申を行った。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		特別職の報酬等のあり方や適正な水準等を確保するために、審議会からの答申を受けて内部で検討します。今後も必要に応じて諮問し、答申を受けて内部検討をします。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	特別職報酬等審議会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00058				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	00058
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成26年度～28年度は開催しなかったが、今後も必要に応じて、特別職の報酬等の在り方や適正な水準等に係る諮問に対して審議していただき、その答申を受けて内部検討していく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	行政管理事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田 一雄

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正内容	消防隊の増隊等に伴い、消防職員の定数を332人から363人に改正。											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	職員定数条例他													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	行政組織												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	適正な職員体制の確立												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	適正な職員体制が確立できる													
(7)	事業概要	本市の行政管理として、定数管理及び事務改善関連の事務を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大事業	10	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		130	96	73	57	93							
		人件費	職員数	人	3.75	3.75	2.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	31,320	30,147	16,340	15,800	16,104						
		総事業費(A+B)		31,450	30,243	16,413	15,857	16,197							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		31,450	30,243	16,413	15,857	16,197							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	31,450		30,243	16,413	15,857	16,197									
財源計(C+D)		31,450	30,243	16,413	15,857	16,197									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:人)	2,198.00	2,254.00
	実績値			(単位:人)	2,169.00	2,250.00	/
	達成度(%)		98.7	99.8			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	13.94	7.29		
			一般財源(単位:千円)	13.94	7.29		
	②	指標内容	目標値	(単位:人)	2,623.00	2,664.00	2,713.00
実績値			(単位:人)	2,546.00	2,622.00	/	
達成度(%)		97.1	98.4				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	11.88	6.25			
		一般財源(単位:千円)	11.88	6.25			
①	活動内容	本市の行政管理として、定数管理及び事務改善関連の事務を行う。		目標	適正な職員体制の確立		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	平成25年度からの吹田市職員体制計画(案)の進行管理など、全庁的な取組に必要不可欠である。また、地方公務員法及び地方自治法の改正が予定されており、平成32年4月に施行される見込みであることから、今後、職員体制の抜本的な見直しが必要であり、全庁的な業務量調査を実施するなど、事業を拡充する必要があると考える。					

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	行政管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01045				

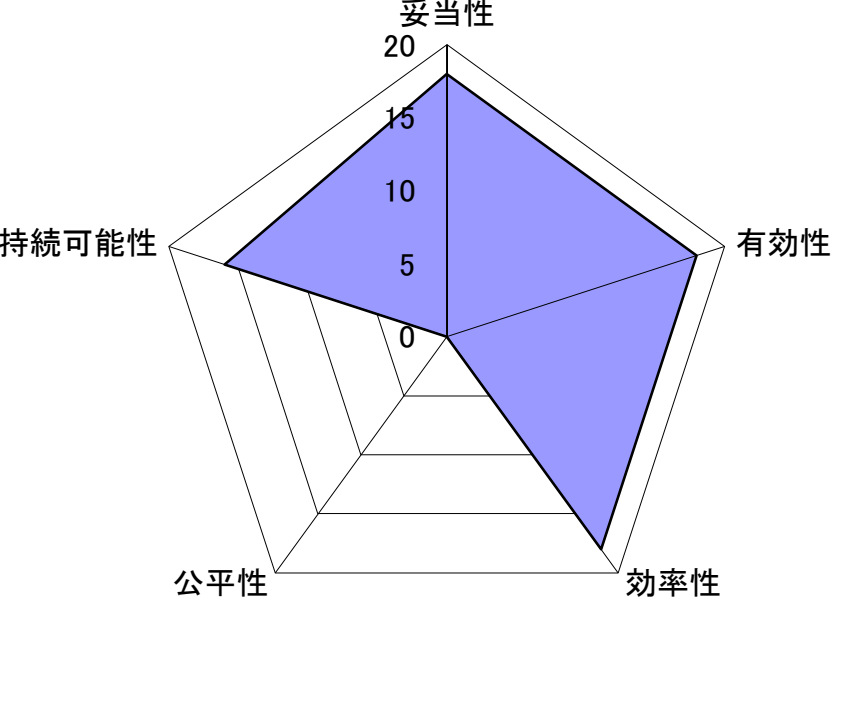
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	01045
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業実施の妥当性について、行政需要の変化に応じた適正な職員体制の確立に向け、今後も必要性があるものとする。また、担い手については、定数管理等を通じた効果的かつ効率的な職員体制を構築する内部管理事務であるため、現在の方法が妥当と考える。有効性については、吹田市職員体制計画(案)に基づく職員定数の管理等、一定の効果はあると考える。今後も計画の達成や新たな職員体制計画の策定など、適正な職員体制の構築に取り組んでいきたい。効率性については、事業予算としては旅費や消耗品程度しかなく、費用という視点からの評価はとても難しい。担当職員数という面では、現在の業務に対する職員数は最小限であると認識しており、効率性は高いと考えるが、今後も引き続き事業効率の向上に努めていきたい。持続可能性については、効率的な行政運営を図るため、今後とも適正な職員体制の確立が必要であることから、継続が必要と考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市人事給与制度改革研究会事業				
担当部名	総務部	室課名	人事室	室課長名	井田 一雄

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成17年度	改正 内容	水道部の組織改正に伴う改正					
(2)	直近の改正	平成27年度							
(3)	根拠法令等	吹田市人事給与制度改革研究会設置要領							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	03	細節	00	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	人事給与制度						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	地方分権時代にふさわしい、新しい地方自治を担う情熱と意欲を持った職員を育成するため、本市における人事給与制度のあり方を研究すること。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の理解と支持を得ることができる人事給与制度の実現及び職員の人材育成、組織活性化の達成。							
(7)	事業概要	副市長を座長とし、部長級で構成する研究会で、市民の理解と支持を得ることができる人事給与制度の構築及び職員の人材育成、組織活性化を図る制度の研究を行う。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	副市長を座長とした研究会を開き、本市における人事給与制度のあり方等を研究する。			目標	市民の理解と支持を得られる人事給与制度の実現及び職員の人材育成、組織活性化を達成する。
	②	成果内容	市民の理解と支持を得ることができる人事給与制度の実現及び職員の人材育成、組織活性化の達成			達成状況	必要に応じ研究会を開催し制度を改善している。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		今後とも人事給与制度については、社会情勢に適應するよう、国や他市の状況を注視しながら必要に応じて改善策を検討すべきであると考えます。また、研究会のあり方についても、見直しを検討します。				

事務事業分析シート

所属名	人事室	事業名	吹田市人事給与制度改革研究会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01277				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人事室	事務事業番号	01277
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>副市長を座長とし、部長級で構成する研究会で、市民の理解と支持を得ることができる人事給与制度の実現及び職員の人材育成、組織活性化を達成することを目的としている。 なお、平成28年度については、開催していない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)